



体験的な活動を通して学ぶこと

校長 瀧嶋 克己



都心では5月の観測史上最多となる夏日を更新したようです。例年になく暑い5月となりました。6月、南門のアジサイの花が咲き始めました。これから梅雨の季節を迎えようとしています。

■軽井沢移動教室（6年生）

5月19日（火）～22日（金）の3泊4日で6年生が軽井沢移動教室に行ってきました。学校に集合するときは、少し雨がぱらつきましたがその後は好天に恵まれ予定通り挙行することができました。

1日目は池の平湿原でハイキングを行いました。霧が出ていて気温が13℃と低く、あちらこちらに雪が残っていました。木道や歩道は、よく整備され気持ちよく歩くことができました。2日目は白糸の滝を見学し、流れ落ちる冷たい水に手を当てる児童もいました。浅間山火山博物館の裏手にある芝生の庭園では、浅間山を近くに眺め、360°の大パノラマの中で昼食をとりました。3日目はアイスパークでカーリング体験を行いました。20kgもあるストーンを滑らせたり、ブラシで掃いたりしました。氷の上は滑りやすいので毛糸の帽子をかぶり、転び方の練習を何度も行い、グループに分かれゲームをしました。最後の最後にストーンをは

じき大逆転で勝敗を分けるグループもあり大変盛り上がりました。「もっとやってみたい」という声が多く聞こえました。4日目は、観音山古墳に行き石室の中でお話を伺いました。十数トンもある6つの石の屋根や工夫された壁面の石の積み方もよく分かりました。

他にも宿舎での、キャンプファイヤーや火おこし体験などたくさんの体験を行い、体験を通して様々なことを学びました。6年生の「気持ちのよいあいさつ」や「5分前行動」は、とても立派でした。さすが6年生です。

■平成27年度「人権の花」運動実施校

東京都人権擁護委員協議会が主催し人権擁護啓発活動の一環として「人権の花」運動を行っています。練馬区では本校を含め4校が実施校となっています。目的は、花の種子を児童が協力し合って育てることを通じて、協力、感謝することの大切さを生きた教育として学び、生命の尊さを実感する中で、人権尊重の精神を育み情操をより豊かなものにすることです。

種とプランターをいただき、全学級で種をまきました。今は教室で育てています。もう少し大きくなったらプランターに移し、正門前に並べます。夏休み前には、花を咲かせてくれると思います。

その他にも1年生はアサガオ。2年生はミニトマト等。3年生はオクラ等。4年生はヘチマとゴーヤ。5年生はインゲン豆と稲。6年生はジャガイモをそれぞれ鉢やグリーンランドで育てています。登校すると自分の鉢に水をやり、日ごとに大きくなっていく植物の成長を楽しんでいる児童も多くいます。